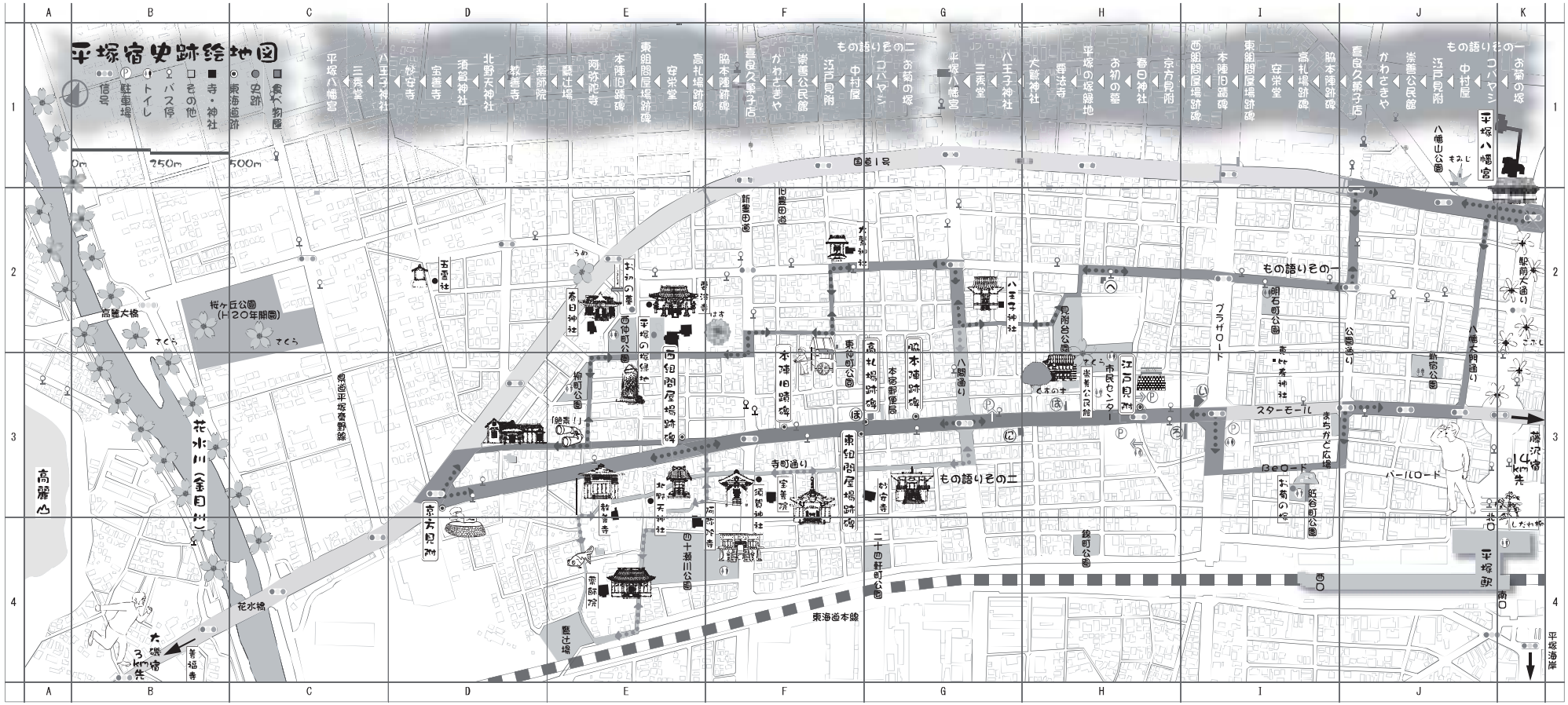


平塚八幡宮 K/1

古くは鷹峰山八幡宮と言われ、相模国八幡庄の総鎮守である。源頼朝の時代には、寿政子の安産祈願のために神馬も奉納された記述も残っています。境内に残る樹齢は「かながわの美林五十選」に選ばれています。

妙安寺 G/3

日蓮宗真言宗山の末寺。妙安さんと親しまれている。比丘尼によって開基されたと伝えられています。寺の中には本尊三宝が安置され毎月八日には、大祭日の能修がおこなわれます。

宝善院 F/3

提寺である三宗の寺。寺域内は、白梅や桃、百日紅などの花が彩り、須佐之男命を祀る須賀神社もあります。

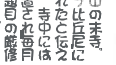
春日神社 E/2

源頼朝が妻・政子の安産祈願を行った寺社の一つ。黒部宮は当社の旧名で現社地より南方にありましたが、津波で流失したので現在地へと移されました平塚本宿の鎮守です。境内には白梅、紅梅があり二月三月に掛けてきれいな花が見られます。

崇善公民館 H/3

印象的な木造の建物は、昭和二十五年に平塚市の議事堂として建設されたものです。公民館の前には、平塚市の保全樹に指定されている「くすのき」があり、震災や戦争を乗り越え現在の姿を見せています。

尊法寺 E/2



日蓮上人の平塚村の止宿の旧跡に建てられたのが、松雲山尊法寺である と伝えられています。敷地内には平塚市の名木指定されている巨大なくすのがあります。はすの花やさるすべりの木などが印象的な寺です。

教善寺 E/3

市内唯一の時宗の寺。本尊の観世音立像は、長さ約五十センチの自然木へ妙相を彫り付けた珍しい像で、眼病平癒の祈願に効果があるといわれています。白梅の花が美しいです。

八王子神社 G/2

徳川家康が鷹狩の折この地で休憩した田畑を持って、職人の子孫が報恩のために「東照宮（東照大権現）」をまつったのが始まりといわれ、通称「権現さま」と呼ばれています。

平塚の塚 E/2

伝承によると桓武天皇の第三皇子・高見王の娘・平貞盛子が東国に向かう途中の天安元年（八七五年）二月にこの地でとくなりました。この地に埋葬し土を盛り、塚としましたが、いつしか平らになり、平塚と呼ぶようになりました。

阿弥陀寺 E/4

浄土宗。伊東祐親の子、四郎祐光が親鸞上人に任えて浄土と改め、安貞元年これの庵を創建し阿弥陀寺を起立したと伝えています。

薬師院（清水の寺） E/4

通称、清水の寺。明治時代、崇善館第二支校が当寺に置かれ、郷土の人たちが学んだ所といわれています。寺の前には古花水川が迂回して南に流れ、蛍が夏の夜に飛び舞う名所としての名残が今でも見られます。

「学生が選んだ平塚宿のお菓子」

お茶屋 い コバヤシ
抹茶アイス

お茶屋さんの抹茶アイスだから、ちょっぴり抹茶多めでとっぱりとした白さ。アイスと最中の絶妙のハーモニー！

和菓子 ろ 中村屋
大番どら焼き

昭和三十年代の人気作家・獅子文六が大磯に住んでいた頃、この店のどら焼きを好みました。そして、映画化もされた作品「大番」の名前を用いて大番どら焼きと名付けました。

和菓子 は かわさきや
見附まんじゅう

創業百年余で江戸見附の場所に当り、見附まんじゅうと名付け、表面の皮はつくね芋を使い、餡は小豆こし餡で出来ています。

和菓子 に 喜良久菓子店
はまぐり最中

豪野市から平塚市に移り、六十年以上続いています。皮がパリパリで、あんこがぎっしり。粒あんと白あんの2種類の味を楽しむ事ができます。

和菓子 ほ 安栄堂
平塚最中

この最中は、大正八年の『平塚の魂』の建立を記念して発売されました。北海道産の小豆と白豆を使って作られたお菓子です。

和菓子 へ 三秀堂
団だんご

花見だんごや、ごまだんご、いそべだんごなど、お好みどうぞ！ 和菓子も四季あり変わります。ぜひ一度いらしてみてください。